
写真で会いに行く震災前の 「みなみさんりく」プロジェクト

～みやぎ震災伝承連携推進事業～

2023/3/22

一般社団法人南三陸町観光協会

事業実施の背景

○南三陸311メモリアルについて

- ・東日本大震災の経験を共有し、“自然とは、生きるとは“に思いを馳せ語り合う
- ・「もし自分だったらどう行動するか」自分ごととして学びあう



○本事業実施にあたっての伝承の課題

- ・伝承施設に地域の方が行かない 行く理由がない
- ・震災から年月が経過し、震災以前の暮らしや営みが津波によって失われたことが記憶から風化している。震災後に生まれた子どもたちはその記憶すらない。



○本事業を通じて

- ・「震災以前」のアーカイブ
- ・メモリアルへの地域の方の来訪促進
- ・震災伝承への興味関心や参画促進 を図る

事業内容①

○「震災前」の写真を住民から収集、アーカイブして未来へ継承
1月～チラシや町広報を活用して地域内外から
震災前の写真やデータ関係を収集

3月19日時点で28人から約2,000枚を収集

2月15日～(5月15日まで)
南三陸311メモリアル内で
「あの頃に会いに行く南三陸の暮らし展」
にて収集した写真を展示中

**地域の来訪者
3月19日時点で
約1,500人**



次世代へつなぐ
～南三陸の記憶プロジェクト～
震災前の南三陸の
写真を募集しています



UTATSU

震災以前の、
ここにあった街並みをおぼえていますか。
東日本大震災により、かつての街並みは壊れ、
あるとばかり思っていた場所が消失しました。
震災によって失われた人々の記憶や思い出の場所を復元し、
震災前にもう一度子どもたちがその街並みを知りたい、感じたいです。
ぜひ写真などおぼえてくれたり、人々を思い出させてください。
未来へ、
そしてこの街並みへ伝えていくためのプロジェクトをスタートします。



南三陸
311メモリアル
MINAMISANRIKU
311 Memorial



TOGURA

主催：南三陸311メモリアル、一般社団法人南三陸復興財団、協力：東日本大震災
から3年、1年経過後の町で震災直後の街並みを再現する、の取り組みが行われていく。

事業内容②

○地域の方が集うイベント関係

・写真家浅田政志を囲んで
「みんなで南三陸」を語ろう

3月17日～18日開催

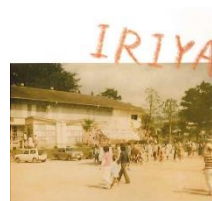
参加者数:64名

撮影当時の裏話や震災後の写真も交え、町民の語り合う場となった。

・みんなで語ろう！懐かしの南三陸

3月26日開催予定

1月から集めている写真を囲んで
当日の思い出などを語り合う場。
(これから実施)



次世代へつなぐ
～南三陸の記憶プロジェクト～

震災前の南三陸の
写真を募集しています



震災以前の、
ここにあった街並みをおぼえていますか。
東日本大震災により、かつての街並みは失われ、
かさ上げされた新しい街並みが築かれた。この街並みは、
震災で消えた私たちの記憶から、かつての街並みの姿を再現し、
震災前に戻った子どもたちはその街並みを知らずに、成長しています。
ずっと昔からここには街並みがあり、人々が暮らし続けてきたことを忘れないよう、
未来へ、
そして次の世代へ伝えていくためのプロジェクトをスタートします。



南三陸
311メモリアル
MINAMISANRIKU
311 Memorial

主催：南三陸311メモリアル（一般社団法人南三陸町観光協会） 協力：飯倉スタジオ
本アランは「令和4年度みやぎ震災復興推進事業補助金」の補助を受けて作成しています。

事業成果

○ 口コミでの周知発信

写真持参者や来訪した地域の方がプロジェクトや企画展について、広報役となっている。口コミでの来訪者も多数あり。また、効果として南三陸ファンが増加した。

○ 地域の方の伝承施設利用促進

親子連れが多く来館するきっかけとなり、町民が震災前の町の状況について、世代間で語り合う場になった。

○ 震災前の記録収集

多くの写真が寄せられ、施設の役割の一つでもあるアーカイブにつながった。

○ 写真持参をきっかけに来訪した方を施設で雇用

写真持参者に向けて継続的に証言や語り部機会のオファーをかけられる。